

# なかつか 亮



3施設229人分増設歓迎！ でも、まだ足りません！

## さらなる特養ホーム増設を

データで見る品川区

介護度別 半年間の特養ホーム入所状況

	申込者数	入所者数	入所率
要介護5	89	7	7.9%
要介護4	159	24	15.1%
要介護3	186	33	17.7%
要介護2	107	2	1.9%
要介護1	82	1	1.2%
合計(%平均)	623	67	10.8%



増設求める署名運動を引き続き！区民の願いが届く区政をつくりましょう！

平均でも入所は10人に1人

長年の要望である特養ホームの増設が進んでいません。しかし、いっしょに考えたいことは、まだまだ足りないというところ。品川区の現状を少しデータで考えたと思います。

上の表はこの半年間の入所状況。昨年8月末までに特養ホーム入所を申し込んだ623人の中で、今年2月末までの半年間で入所は67人。つまり556人が入所できませんでした。平均でも11%と10人に1人。要介護5ではわずか8%です。

特養ホームは今後2年間で杜松・平塚・大崎の3ヶ所で計229人分増えますが、新規申し込み者だけでなく、今待っている方の分も全く足りません。裏へ

週刊区政報告に対するご意見、ご要望お寄せください バックナンバーはHPに掲載

フェイスブック ほぼ毎日更新中！ 気軽に「友達リクエスト」の送信を

年齢別 半年間の特養ホーム入所状況

	申込者数	入所者数	入所率
100歳以上	9	4	44.4%
90代	151	22	14.6%
80代	308	31	10.1%
70代	129	8	6.2%
60代	22	2	9.1%
50代未満	4	0	0.0%
合計(%平均)	623	67	10.8%

上の表は、同じ半年間で入所した方を年齢別で整理したものの。入所率は100歳以上で4割、90代で1割半と厳しい現状です。

品川区の場合、特養ホームの入所申請は年2回。半年に1回の入所調整会議で、申請者に優先順位をつけ、ベッドが空き次第、順次入所を決定し、家族に連絡します。

入所の順番は要介護度、年齢、在宅介護期間、家族の状況や認知症の程度などを点数化し総合的に決定。しかし、あまりにも絶対数(ベッド)が足りない

ので、実際は必要な方が入所ができていない状況があります。例えば「脳梗塞で急に介護が必要になった」

「介護サービスは使わずに家族で在宅介護をしていたが、介護をしていた方が入院や転勤で介護をする人がいなくなつた」など、本人や家族に変化がおきた場合、在宅介護期間が短いとの点数で入所が厳しくなるケースが起きています。中には年齢が若い場合(若いといつても60代や70代)

は「連続申し込み」に加点は無いので、何年待っても入所できないケースもあります。希望施設を入居数が多くなる新規開設の時期を狙うという「コツ」もありますが、みんながそこに申請すれば同じこと。やっぱり一日も早い特養ホームのさらなる増設が必要なのです。なかつか亮

「介護サービスは使わずに家族で在宅介護をしていたが、介護をしていた方が入院や転勤で介護をする人がいなくなつた」など、本人や家族に変化がおきた場合、在宅介護期間が短いとの点数で入所が厳しくなるケースが起きています。中には年齢が若い場合(若いといつても60代や70代)

## お金がないとは言わせません！問題は『税金』の使い方！

区の貯金(基金)は670億円です。問題は、区も度々、自慢する「健全財政」の使い方。例えば再開発マンションや29号線など道路建設は、今年だけで97億円も予算計上ですが、特養ホームや老健施設、子ども達の認可保育園など、暮らし応援こそもっと強化すべき！。どこを手厚くするのか？ズバリ政治の姿勢が問われていると思います。

### 今月の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

5月17日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所  
 弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください  
 連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**